

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ルコナック爪外用液 5%
(英名)	Luliconazole
(規格・含有量)	1g 中 ルリコナゾール 50mg を含有
(一般名)	ルリコナゾール
(メーカー名)	佐藤製薬
【薬価収載日】	2016年4月
【薬価】	5%1g 663.60円
【薬効コード】	629
【薬効分類名】	爪白癬治療剤
【効能・効果】	〈適応菌種〉 皮膚糸状菌(トリコフィトン属)
	〈適応症〉 爪白癬
【用法・用量】	1日1回罹患爪全体に塗布する。

(薬品名)	ジintas錠 50mg	劇
(英名)	Zinc Histidine Hydrate	
(規格・含有量)	1錠中 ヒスチジン亜鉛水和物 313.4mg(亜鉛として 50mg)を含有	
(一般名)	ヒスチジン亜鉛水和物	
(メーカー名)	ノーベルファーマ	
【薬価収載日】	2024年8月	
【薬価】	1錠 232.90円	
【薬効コード】	3229	
【薬効分類名】	低亜鉛血症治療剤	
【効能・効果】	低亜鉛血症	
【用法・用量】	通常、成人及び体重 30kg 以上の小児では、亜鉛として、1回 50~100mg を開始用量とし 1日1回食後に経口投与する。 なお、血清亜鉛濃度や患者の状態により適宜増減するが、1日1回 150mg を超えないこと。	

(薬品名) トレムフィア点滴静注 200mg 生物・劇		市販直後調査 潰瘍性大腸炎:2025年5月~11月 クロウン病:2025年6月~11月
(英名)	Guselkumab (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1 瓶(20mL) 中 グセルクマブ(遺伝子組換え)200mg 含有	
(一般名)	グセルクマブ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	ヤンセン	
【薬価収載日】	2025 年 5 月	
【薬価】	1 瓶 253,045 円	
【薬効コード】	3999	
【薬効分類名】	ヒト型抗ヒトIL-23p19 モノクローナル抗体製剤	
【効能・効果】	○中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法(既存治療で効果不十分な場合に限る) ○中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)	
【用法・用量】	通常、成人にはグセルクマブ(遺伝子組換え)として、1 回 200mg を初回、4 週後、8 週後に点滴静注する。	

(薬品名) イオプロミド 370 注 100mL「BYL」																	
(英名)	Iopromide																
(規格・含有量)	1mL 中 イオプロミド 768.9mg を含有																
(一般名)	イオプロミド																
(メーカー名)	バイエル																
【薬価収載日】	2021 年 4 月																
【薬価】	1 瓶 4,207 円																
【薬効コード】	7219																
【薬効分類名】	非イオン性尿路・血管造影剤																
【効能・効果】	血管心臓撮影、胸部血管撮影、腹部血管撮影、四肢血管撮影、デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影、デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影																
【用法・用量】	通常、成人 1 回下記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減するが、複数回投与する場合の総投与量は 260mL までとする。																
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>血管心臓撮影</td> <td>3~40mL</td> </tr> <tr> <td>胸部血管撮影</td> <td>5~50mL</td> </tr> <tr> <td>腹部血管撮影</td> <td>5~50mL</td> </tr> <tr> <td>四肢血管撮影</td> <td>10~40mL</td> </tr> <tr> <td>デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影</td> <td>20~40mL</td> </tr> <tr> <td>デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影</td> <td>3~30mL^{注1)}</td> </tr> <tr> <td>コンピューター断層撮影における造影</td> <td>50~100mL^{注2)}</td> </tr> <tr> <td>静脈性尿路撮影</td> <td>50~100mL^{注2)}</td> </tr> </tbody> </table>	血管心臓撮影	3~40mL	胸部血管撮影	5~50mL	腹部血管撮影	5~50mL	四肢血管撮影	10~40mL	デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影	20~40mL	デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影	3~30mL ^{注1)}	コンピューター断層撮影における造影	50~100mL ^{注2)}	静脈性尿路撮影	50~100mL ^{注2)}
血管心臓撮影	3~40mL																
胸部血管撮影	5~50mL																
腹部血管撮影	5~50mL																
四肢血管撮影	10~40mL																
デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影	20~40mL																
デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影	3~30mL ^{注1)}																
コンピューター断層撮影における造影	50~100mL ^{注2)}																
静脈性尿路撮影	50~100mL ^{注2)}																
	注 1) 原液又は原液を生理食塩液で 2~4 倍希釈し用いる。																
	注 2) 50mL 以上投与するときは、通常点滴静注とする。																

削除医薬品通知

オルセノン軟膏 0.25%	9/2 削除
ノベルジン錠 50mg	9/2 削除
アルタット静注用 75mg	9/2 削除
イオパミロン注 370 100mL	9/2 削除

供給不足による薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>在庫消尽後変更</u> エンタカポン錠 100mg「アメル」 デフェラシロクス顆粒分包 90mg「サワイ」 ソリタ-T3 号 G 輸液 200mL 	<ul style="list-style-type: none"> エンタカポン錠 100mg「サンド」 デフェラシロクス顆粒分包 90mg「サンド」 YD ソリタ-T3 号 G 輸液 200mL

供給再開による薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>8/29 変更</u> メトクロプラミド錠 5mg「タカタ」 	<ul style="list-style-type: none"> プリンペラン錠 5

供給再開によるオーダー再開について

ビペリデン塩酸塩錠 1mg「アメル」	8/29 再開
--------------------	---------

適応追加通知

ドプテレット錠 20mg	<p>【効能・効果】</p> <p>○待機的な観血的手技を予定している慢性肝疾患患者における血小板減少症の改善</p> <p>○持続性及び慢性免疫性血小板減少症</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈持続性及び慢性免疫性血小板減少症〉</p> <p>通常、成人には、アバロンボパグとして初回投与量 20mg を 1 日 1 回、食後に経口投与する。投与開始後、血小板数、症状に応じて用法・用量を適宜調節する。また、最高投与量は 40mg を 1 日 1 回とする。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>オブジーボ点滴静注</p> <p>20mg</p> <p>120mg</p> <p>240mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○悪性黒色腫</p> <p>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>○非小細胞肺癌における術前補助療法</p> <p>○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌</p> <p>○再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫</p> <p>○再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌</p> <p>○治癒切除不能な進行・再発の胃癌</p> <p>○切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫</p> <p>○悪性中皮腫(悪性胸膜中皮腫を除く)</p> <p>○治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌</p> <p>○根治切除不能な進行・再発の食道癌</p> <p>○食道癌における術後補助療法</p> <p>○原発不明癌</p> <p>○尿路上皮癌における術後補助療法</p> <p>○根治切除不能な尿路上皮癌</p> <p>○根治切除不能な進行・再発の上皮系皮膚悪性腫瘍</p> <p>○切除不能な肝細胞癌</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌〉</p> <p>イピリムマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1 回 240mg を 3 週間間隔で 4 回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1 回 240mg を 2 週間間隔又は 1 回 480mg を 4 週間間隔で点滴静注する。がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再</p>

	<p>発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌に対して、ニボルマブ (遺伝子組換え) を単独投与する場合は、通常、成人にはニボルマブ (遺伝子組換え) として、1 回 240mg を 2 週間間隔又は 1 回 480mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>ヤーボイ点滴静注液 50mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根治切除不能な悪性黒色腫 ○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 ○治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌 ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 ○根治切除不能な進行・再発の食道癌 ○切除不能な肝細胞癌 <p>【用法・用量】</p> <p>〈根治切除不能又は転移性の腎細胞癌, 治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌〉</p> <p>ニボルマブ (遺伝子組換え) との併用において、通常、成人にはイピリムマブ (遺伝子組換え) として 1 回 1mg/kg (体重) を 3 週間間隔で 4 回点滴静注する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>ケサンラ点滴静注液 350mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制</p> <p>【用法・用量】</p> <p>通常、成人にはドナネマブ (遺伝子組換え) として初回は 350mg、2 回目は 700mg、3 回目は 1050mg、その後は 1 回 1400mg を 4 週間隔で、少なくとも 30 分かけて点滴静注する。</p>